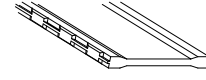
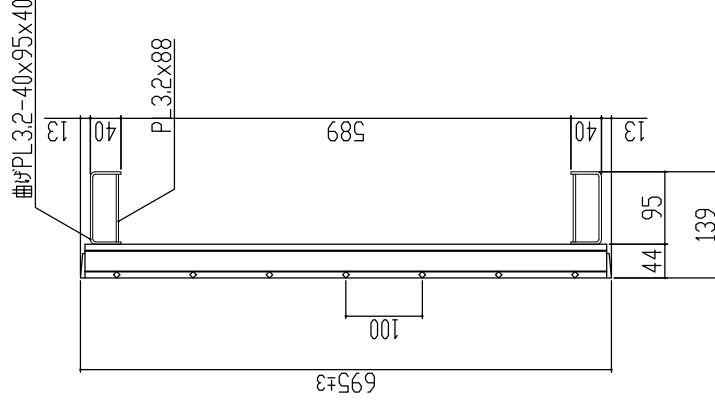
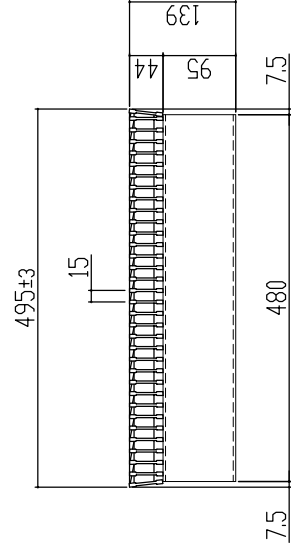


車輻進行方向(側溝)



本体重量 39.3kg

主部材詳細図 表面処理 本体は溶融亜鉛メッキ仕上げ
 (JIS H8641)

訂正年月日 訂正年月日 訂正年月日 訂正年月日	訂正番 訂正年月日 訂正事項 訂正者 承認印 承認印 承認印	製図 製図 製図 製図	図面名称 図面名称 図面名称 図面名称	株式会社 MK駐輪事業部 MKG-L-340-2	
	構造製作図面 製作図面 特注図面 検討図面	検査 検査 検査 検査	検査 検査 検査 検査	検査 検査 検査 検査	検査 検査 検査 検査
	検査 検査 検査 検査	検査 検査 検査 検査	検査 検査 検査 検査	検査 検査 検査 検査	検査 検査 検査 検査
	検査 検査 検査 検査	検査 検査 検査 検査	検査 検査 検査 検査	検査 検査 検査 検査	検査 検査 検査 検査

グレーチング強度計算書



1 仕 様	品名	LNHVS140-445-695/495TX
	製品寸法	695x495x44+95
	主部材	I-5 × 3 × 44
	断面係数	Z = 1.481 cm ³

2 設 計 条 件	荷重条件	T-14	支点間距離	L = 589
	後輪一輪荷重	P = 56000 N	衝撃係数	i = 0
	許容応力	$\sigma_b = 320$ N/mm ²	車両進行方向	主部材に対し、縦断
	主部材ピッチ	O = 15 mm		
	接地面積	a mm × b mm = 200 mm × 500 mm		

3 強 度 計 算	<p>1. ベアリングバー1本当たりの単位荷重: ω (N/mm)を求める。</p> $\omega = \text{後輪1車荷重} \times (1 + \text{衝撃係数}) \times \text{ピッチ} / \text{接地面積} \quad \text{より}$ $\omega = 56000 \times (1 + 0) \times 15 / 100000$ $\omega = 8.40 \text{ (N/mm)}$
	<p>2. ベアリングバーの最大曲げモーメント: M (N・mm)を求める。</p> $M = \omega \times 0.5 \times b \times (L - 0.5 \times b) / 2 \quad \text{より}$ $M = 8.4 \times 0.5 \times 500 \times (589 - 0.5 \times 500) / 2$ $M = 355,950 \text{ (N・mm)}$
	<p>3. 曲げ応力度: σ_b (N/mm²) を求める。</p> $\sigma_b = M / Z \quad \text{より}$ $\sigma_b = 355,950.0 / 1481.000$ $\sigma_b = 240.34 \text{ (N/mm}^2\text{)}$ <p>従って、許容応力 $\sigma_b = 320$ (N/mm²) に対し、</p> $\underline{\underline{240.34 \text{ (N/mm}^2\text{)} \leq 320 \text{ (N/mm}^2\text{)}}}$

4 総 括	<p>上記の計算式により、1項目の仕様で、 2項目の設計条件に対し十分な強度を保持致します。</p>
-------------	--